

重点目標一覧表

担当部局名

真田地域自治センター

【平成30年度重点目標】

【令和元年度重点目標】

重点目標	具体的な重点取組項目（箇条書き）	達成状況・達成度	重点目標	具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等
1	重点目標 魅力あるスポーツリゾート「菅平高原」の環境整備 ① 菅平高原アリーナの供用開始及び適正な運用 (1) 供用開始 (2) 円滑な施設運営に向けた準備 (3) 施設の利用促進に向けた取組 ② サニアパーク 菅平の環境整備 (1) ラグビーイタリア代表チームを迎えるためのグラウンド及び管理センターの整備 (2) 陸上競技場の第3種公認更新及び利用者の利便性向上のための環境整備 ③ 菅平高原の自然環境の維持 (1) 県自然環境整備支援事業を活用した菅平湿原の環境維持と自然愛護への意識高揚を目指した施設整備 ④ 年間を通じた誘客を目指した活動への支援 (1) 健康増進プログラムを提供する菅平スポーツツインカレッジ協議会への支援	① (1) 8月31日竣工 9月1日供用開始 (2) 施設運営に必要な管理規則等の整備及び、行政手続きに必要な審査基準等の策定 (3) 地元関係団体等と利用促進に向けた協議を実施及びオリンピック選手等トップアスリートの利用状況をホームページ等に掲載 ② (1) ラグビーイタリア代表チームを迎えるためのグラウンドの整備及び管理センター更衣室・通路の床整備の実施 (2) 陸上競技場第3種公認を更新及びトイレ新築・更衣室改修の実施 ③ (1) 菅平湿原木道改修工事(整備延長 88.5m)の実施 ④ (1) 菅平SPT協議会が行った事業に対し、国の地方創生推進交付金を活用した財政支援	重点目標 ラグビーワールドカップ2019を契機とした「ラグビー合宿の聖地 菅平高原」の魅力の発信 ① イタリア代表チームのトレーニングキャンプを歓迎する意識の醸成 (1) 真田町商工会などが行う歓迎事業への支援 (2) ラグビーワールドカップ日本大会の応援情報の発信 (3) 菅平線のバスを利用したラグビーワールドカップ日本大会等のPR (4) 真田図書館にラグビーワールドカップ日本大会等の特設コーナーを設置 (5) タグラグビー・タッチラグビー講習会の開催 ② ラグビーイタリア代表チームを迎えるための練習環境の整備 (1) 主会場となるサニアパーク 菅平のフィールドコンディションの向上 (2) 菅平高原アリーナでの受入体制の充実	① (1) 「そばパスタ」提供「のぼり旗」掲出等(11月まで) (2) 市民ホール等でのビデオ放映やセンターだより、ホームページSNSなどを活用した情報発信(11月まで) (3) ホスター掲出、乗車記念品配布(期間、数量限定)(5月～11月) (4) ラグビー競技や日本・イタリア代表チーム、イタリア国に關係する図書の特設コーナーの設置(7月～11月) (5) タグラグビー(11月まで)タッチラグビー(8月まで)の講習会を各1回開催 ② (1) 計画的な整備(随時)と利用調整(事前及び期間中) (2) 利用調整(事前及び期間中)	
2	重点目標 真田に暮らす誇りと生きがいを感じる 参加と協働のまちづくり ① 住民自治組織の「まちづくり計画」策定への支援 (1) 策定方法の決定支援 (2) 住民意見の把握のためのワークショップ等の開催支援 (3) 計画案の内容調整支援 ② 地域づくり委員会と住民自治組織が連携したまちづくりへの取組 (1) 住民自治組織の活動への理解に向けた周知 (2) 連携方法の方向づけ (3) 地域課題の解決に向けた情報共有 ③ 「協働のまちづくり」の気運の醸成に向けた取組 (1) 協働推進員、地域担当職員及び地域づくり委員会の地域担当者との連携 (2) 地域住民等への行政及び住民自治組織のまちづくりや地域情報の提供	① (1) 情報提供及び相談による支援 (2) ミニミーティング開催支援(4回)センターだより掲載(2回) (3) 計画素案の作成支援(随時) ② (1) センターだよりで活動を周知(2回) 真田地域自治会連絡会議での説明及び協力依頼(2回) (2) 自治会との連携策として「総会」の開催について協議 (3) 地域づくり委員会を通して把握した地域課題の情報共有、地域協議会と住民自治組織の意見交換実施(2回) ③ (1) 「地域づくり委員会地域担当者打合せ会議」を開催(1回)、要望に係る事業実施や予算編成の実施 (2) 「地域づくり活動」の取組事例をセンターだよりに掲載(3回)	重点目標 市民と行政が共に進める「参加と協働のまちづくり」 ① 住民自治組織の運営基盤づくりへの支援 (1) 関係部局との調整等、「まちづくり計画」策定への支援 (2) 住民自治組織が取組む独自事業への支援 ② 「地域づくり委員会」との協働による安全・快適なまちづくりの推進 (1) まちづくりに活用できる情報の提供 (2) 地域課題の共有 (3) 協働による地域課題の解決に向けた取組 ③ 「協働のまちづくり」の気運の醸成に向けた取組 (1) 協働推進員、地域担当職員及び地域づくり委員会の地域担当者との連携 (2) 地域づくり活動の積極的な周知	① (1) 計画策定(12月まで) (2) センターだより等で開催や活動状況を周知(年度内) ② (1) 委員会等を活用した情報提供(8月まで) (2) 36委員会、住民自治組織及び行政での共有(1月まで) (3) 活動事例の紹介や支援策等の情報提供(年度内) ③ (1) 地域づくり委員会を活用した情報の共有(8月まで) (2) 地域づくり委員会での情報提供やセンターだより等による広報(年度内)	
3	重点目標 地域を守る自主防災活動の推進 ① 自主防災組織の育成 (1) 自主防災組織リーダーの役割及びハザードマップ等の研修会・先進地視察の実施 ② 防災訓練の実施 (1) 重点地区(菅平地区)及び自治会単位の防災訓練の実施 ③ 災害時要援護者登録制度の充実 (1) 自治会関係者へ制度や活用などの周知 (2) 更新作業の実施	① (1) 研修会に真田地域36自治会中27組織が参加(5/21) 先進地視察に13組織のリーダーが参加(5/25・26) ② (1) 重点地区(菅平地区)において防災訓練を実施 地域住民など256人参加(10/22) 重点地区以外では14自治会が防災訓練を実施 ③ (1) 自主防災リーダー研修(5月) 自治会連絡協議会(12月・1月) 福祉推進委員協議会(10月・3月)で制度説明 全36自治会の地域づくり委員会(7月) 9月防災訓練に向けた自治会長への資料提供 民生児童委員協議会定例会(7月・9月・10月・11月)で 制度説明や制度活用の協議を実施 (2) 全自治会を対象に見直しを行い、うち24自治会の 災害時要援護者台帳及びリスト等の更新を完了	重点目標 「菅平高原」ブランドを活かした更なる誘客の促進 ① サニアパーク 菅平のオープン20周年記念事業の開催 (1) 実行委員会を組織し各種記念大会を開催 (2) 恵まれた練習環境を積極的に情報発信 ② 菅平高原アリーナの利用促進 (1) 繁忙期(7月～8月)の利活用と年間を通じた利用促進を図るため、「管理運営関係者会議」を設置 (2) 利用者の安全性向上を図る施設整備 ③ 年間を通じた誘客を目指した活動への支援 (1) 健康増進プログラムの提供を通じた誘客に取組む「菅平スポーツツインカレッジ協議会」への支援	① (1) 各種記念大会を開催(5月～10月) (2) センターだより、ホームページやSNSを活用した情報発信(10月まで) ② (1) 会議の設置(5月まで) 会議の開催(随時) (2) ラバーマットをトレーニングルームに設置(7月まで) ③ (1) 地方創生推進交付金を活用した財政支援(年度内)	
4	重点目標 地域公共交通の存続に向けた利用の推進 ① 公共交通の利用促進に向けた広報活動 (1) 地域住民へのPR活動 (2) 地域内各事業所への訪問によるPR活動 ② バス利用促進のための各種イベントの開催 (1) セタバス、真田まつりでのバス乗車体験、定期券・回数券特別斡旋企画・クリスマスイベント、ギャラリーバス(絵画・写真等の車内展示) ③ 真田地域公共交通利用促進協議会の運営 (1) 役員会及び総会の開催 (2) 利用促進に向けた調査・研究	① (1) 「センターだより」に利用促進の呼びかけの記事を4回掲載 (2) 真田地域内の16事業所を訪問し、利用促進をPR ② (1) 計画したイベントは全て実施、セタバスで園児の描いた絵画を展示、バス乗車体験、回数券/定期券の特別販売企画を年2回、夏休み期間中のスタンプラリー、イルミネーションバス 景品配布、ギャラリーバスの運行 ③ (1) 利用促進に向け役員会(6月・2月)及び総会(6/27)を開催 (2) 役員会(10/23)で地域交通政策や今後の活動のついて意見交換	重点目標 地域を守る自主防災活動の推進 ① 自主防災組織の育成 (1) 自主防災組織のリーダーの役割及び避難勧告等発令時の対応等についての研修会開催 ② 防災訓練の実施 (1) 危機管理防災課と連携し、上田市防災訓練(主会場)の実施 (2) 自治会単位での防災訓練の実施を推進 ③ 災害時要援護者登録制度の充実 (1) 自治会の防災訓練等に併せ、制度を活用した見廻り訓練等の推進 (2) 住民支え合いマップの有効活用の検討 (3) 更新作業の実施	① (1) 36自主防災組織を対象に開催(5月まで) ② (1) 上田市防災訓練(主会場)の実施(8/31) (2) 過半数以上の自治会で実施(12月まで) ③ (1) 自治会長への説明(3回) 福祉推進委員への説明(2回) (2) 民生・児童委員での検討(3回) (3) 全自治会を対象に更新作業を実施(年度内)	

重点目標一覧表

担当部局名 真田地域自治センター

【平成30年度重点目標】

【令和元年度重点目標】

重点目標	真田地域福祉関係施設の今後のあり方検討と方向付け		重点目標	地域公共交通の存続に向けた利用の促進	
	具体的な重点取組項目（箇条書き）	達成状況・達成度		具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等
5	①上田市真田地域活動支援センターのあり方の見直し (1) 内部協議の実施 (2) 外部の意見聴取の実施 (3) センターのあり方についての方向付け	①(1)(2)(3) 内部協議を実施(3回) 指定管理期間を5年から3年に短縮 利用方法や運営体制の検討を進める旨の方向付け 真田地域の民間事業所が運営する「いこいの家」を含めた 検討を行い、民間事業所の廃止を先行させた	①公共交通の利用促進に向けた広報活動 (1) 地域住民へのPR活動 (2) 学生等への利用促進の啓発 ②バス利用促進のための各種イベントの開催 (1) セタバス、真田まつりでのバス乗車体験、定期券・回数券特別 斡旋企画・クリスマスイベント、ギャラリーバス（絵画・写真等の車内 展示）等	①(1) 地域づくり委員会(7月) 自治会連絡会議(1月) 自治センターだより(5回掲載) (2) 高校生向けPR(3回) 首都圏学生向けPR(2回)	
	② 上田市真田総合福祉センター等のあり方の検討 (1) 内部協議の実施	② (1) 地域活動支援センターの協議に合わせて実施 指定管理期間終了(平成32年度)まで内部協議を継続	③真田地域公共交通利用促進協議会の運営 (1) 役員会及び総会の開催 (2) 利用促進に向けた調査、研究	②(1) 各種イベントの開催(随時) ③(1) 総会(6月)、役員会(随時) (2) 利用促進策の検討(年度内)	
重点目標	真田地域福祉関係施設における今後のあり方の検討		重点目標	真田地域福祉関係施設における今後のあり方の検討	
	具体的な重点取組項目（箇条書き）	達成状況・達成度		具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等
6			① 上田市真田地域活動支援センターの利用方法や運営体制の検討 (1) 利用方法や運営体制の検討 (2) 移行等の手続き調整	①(1) 関係部署との協議(9月まで2回) (2) 関係部署との協議(年度内 随時)	
			② 上田市真田総合福祉センター等のあり方検討 (1) 内部協議の実施 (2) あり方検討会の組織化に向けた準備	②(1) 関係部署との協議(年度内 2回) (2) 内部協議と併せて実施(年度内)	